

農業経営に関する計画 (年(年度)分)

令和 年 月 日

申請者 住所
氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 印

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 加入者管理コード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

(1) 保険期間の営農計画

① 農産物及び畜産物の営農計画

【農産物用】

(単位:a等)

| 農産物 | | | 作付予定 面積 | 作付期 | 収穫期 | | 保険期間の 収穫に係る 作付面積 ①×② | 保険期間開始前の 事故の発生状況 | | 備考 |
|-----|----|----|------------|-----|-------|----------------------|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|----|
| | | | | | (年・月) | 保険期間に 収穫する割合 ② | | 事故の 発生 | 事故発生 の通知 | |
| 種類 | 品目 | 用途 | ① | | | | | | | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

【申請者の住所地以外の経営耕地等】

【担当者記入欄】

◆ 認定農業者又は認定就農者である場合は、該当するものに✓を記入してください。

認定農業者である 認定就農者である

◆ 認定農業者等の認定を希望する場合は、該当するものに✓を記入してください。

認定農業者を希望する 認定就農者を希望する

※認定農業者等の認定を希望される場合は、最寄りの市町村へ連絡して、助言・指導が受けられるように手配します。

【参考情報】

GAPの認証

【畜産物用】

(単位:頭羽等)

| 畜産物 | | | 種付 又は導入 年(年度) | 飼養又は 導入頭羽 数 ① | 出荷予定年(年度) | | 保険期間の 出荷に係る 飼養又は 導入頭羽数 ①×② | 保険期間開始前 の事故の発生状況 | | 備考 |
|-----|----|----|---------------------|----------------------------|-----------|----------------------|--|--------------------------|--------------------------|----|
| 種類 | 品目 | 用途 | | | 年(年度) | 保険期間に 出荷する割合 ② | | 事故の 発生 | 事故発生 の通知 | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

② 規模拡大特例に適用する経営面積
 規模拡大特例を希望する場合は、過去5年間及び保険期間の経営面積を記入してください。

| 過去の経営面積 | | | | | 保険期間の経営面積 | | |
|---------|----------------|--------|----------------|--------|----------------|----|----------------|
| 年(年度)分 | | 年(年度)分 | | 年(年度)分 | | 令和 | 年(年度)分 |
| a | m ² | a | m ² | a | m ² | a | m ² |

(3) 農業経営の目標

認定農業者又は認定就農者でない場合は、下記の1及び2を記入してください。

1 農業経営の現状と目標

<農産物等の生産>

| 農産物又は 畜産物名 | 現状(年) | | 目標(令和 年) | |
|---------------|--------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|
| | 作付面積又は 飼養頭数 (a、頭等) | 出荷・販売量 (kg、本等) | 作付面積又は 飼養頭数 (a、頭等) | 出荷・販売量 (kg、本等) |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※現状は加入申請日の属する年の前年、目標年は原則5年後を記入してください。

<農産物等の販売>

| 農産物又は 畜産物名 | 現状(年) | 目標(令和 年) |
|---------------|----------|----------|
| | 販売金額(万円) | 販売金額(万円) |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

<主たる従事者の所得目標>

| 年間農業所得 (万円) | 現状(年) | 目標(令和 年) |
|----------------|--------|----------|
| | | |

| | | | |
|----|--------|-----|-----|
| 住所 | (〒 -) | | |
| 氏名 | | 連絡先 | () |

※認定農業者等の認定を希望される場合は、本紙の写しを最寄りの市町村へ提供します。

2 目標達成のために取るべき措置

※該当する取組に✓を記入し、括弧内に具体的な内容を記載してください。

経営規模の拡大

()

生産方式の改善・合理化

()

経営の多角化

()

経営の改善・合理化

()

労働力の確保等

()

その他の取組み

()

<記入上の注意>

(1) 保険期間の営農計画

① 農産物及び畜産物の営農計画について

1. 営農計画については、保険期間中に営農を行う全ての農産物等について記入します。なお、収入保険の補償対象とならない農産物等は、「備考」欄に「対象外」と記入します。
2. 保険期間の前年以前に作付け及び種付又は導入を行い、保険期間に収穫及び出荷する農産物等については、保険期間の前年以前の作付け及び種付又は導入時期を「作付期」、「種付又は導入年」欄に記入します。また、収穫及び出荷期が保険期間の翌年以降である農産物等については、翌年以降の収穫及び出荷予定時期を「収穫期」、「出荷予定年」欄に記入し、「保険期間に収穫する割合」、「保険期間に出荷する割合」欄には0%と記入するものとします。
3. 保険期間の前年に収穫及び出荷を行い、保険期間に販売金額を受領する農産物等については、販売金額を受領する時期を「収穫期」、「出荷予定年」欄に記入し、保険期間の年分の税申告において、農業収入金額として計上する金額の割合を「保険期間に収穫する割合」、「保険期間に出荷する割合」欄に記入するものとします。(前年に収穫及び出荷を行い、前年の棚卸に計上している場合を除きます。)

4. ① 農産物及び畜産物の営農計画のうち【農産物用】について

①「農産物」欄は、保険期間に営農を行う農産物を種類、品目及び用途ごとに次のとおり記入します。

ア 米のうるちについては、「用途」欄に「主食用」、「米粉用」、「加工用」、「WCS用」、「飼料用」、「酒米用」の用途ごとに区分して記入します。

イ 小麦、大麦、はだか麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたねについては、畑作物の直接支払交付金の数量払の対象となる場合は、「用途」欄に「数量払対象」と、対象外の場合は、「用途」欄に「数量払対象外」と記入します。なお、対象品目のうち、小麦は「数量払対象(パン・中華麺用)」又は「数量払対象(パン・中華麺用以外)」と、なたねは「数量払対象(特定品種)」又は「数量払対象(その他品種)」と記入します。

また、対象外のばれいしょについては、「用途」欄に「数量払対象外(加工用)」、「数量払対象外(生食用)」、「数量払対象外(種子用)」、「数量払対象外(その他)」と記入します。

ウ かんしょについては、でん粉原料用いも交付金の対象となる場合は、「用途」欄に「数量払対象(専用品種)」又は「数量払対象(その他品種)」と記入します。

対象外の場合は、「用途」欄に「数量払対象外(醸造用)」、「数量払対象外(加工用)」、「数量払対象外(生食用)」、「数量払対象外(種子用)」又は「数量払対象外(その他)」と記入します。

エ さとうきびについては、甘味資源作物交付金の対象となる場合は、「用途」欄に「数量払対象」と、対象外の場合は、「数量払対象外」と記入します。

オ はちみつを花の種類又は産地ごとに区分する場合は、「品目」欄に花の種類又は産地を記入します。

②「作付予定面積」欄は、保険期間に作付する予定の面積又は保険期間開始前に既に作付している面積等を次のとおり記入します。

ア 果樹は、結果樹(花芽の形成等が見込まれる樹園地)の面積又は本数を記入します(単位は、a又は本)。

イ 茶は、茶期ごとの摘採予定面積を合計した面積を記入します(単位は、a)。

ウ ポット等の容器に播種し容器ごと販売する農産物(ポット出荷作物)は、当該作物の種子を播いたポット数を記入します(単位は、個)。

エ きのはちみつは、発生操作を行った原木、駒又は菌床の数を記入します(単位は、本、駒又は個)。

オ はちみつは、巣箱を設置した延べ蜂群数を記入します(単位は群)。

③「作付期」欄は、作付の年及び月を記入します。

ア 播種、移植(定植)する農産物は、播種、移植(定植)の年及び月

イ 果樹は、花芽の形成期等の年及び月

ウ 茶は、冬芽の生長停止期の年及び月

エ きのはちみつは、発生操作を行う年及び月

オ はちみつは、蜂場に巣箱を設置する年及び月

④「収穫期」欄の「年(年度)」欄は、収穫予定の年及び月を次のとおり記入します。

ア 耕地で栽培する農産物は、収穫する予定の年及び月

イ ポット出荷作物は、出荷する予定の年及び月

ウ はちみつは、採蜜する予定の年及び月。蜜蜂は、出荷する期間

エ 保険期間中に収穫・出荷し、翌年に販売金額を受領する農産物であって、保険期間の税申告では売掛金の計上や棚卸しを行わない農産物(大豆など)については、販売金額を受領する時期を記入します。

- ⑤ 「保険期間に収穫する割合」欄は、作付予定面積のうち保険期間の年分の税申告において収入金額(販売金額・期末棚卸高等)に計上する金額に相当する面積(保険期間開始前に収穫し、棚卸に計上している分を除きます。)の割合を記入します。
- ⑥ 保険期間開始前に既に事故が発生している農産物がある場合は、当該農産物の作付予定面積について、事故が発生した面積と事故が発生していない面積を別行に分けて記入し、事故の発生しているものに係る「事故の発生」欄の口に✓を記入し、「備考」欄に対象外と記入します。ただし、農業共済(農作物共済、畑作物共済、果樹共済の収穫共済)又は本収入保険に加入して事故発生通知を行っている場合は、「事故発生の通知」欄の口に✓を記入し、「備考」欄は空欄とします。
- ⑦ 「申請者の住所地以外の営農耕地等」欄は、保険期間において、申請者の住所地以外の耕地等で営農を行う場合に、当該耕地等のある都道府県及び市町村名を記入します。また、はちみつについて、蜜蜂の転飼を行う場合は当該都道府県名と巣箱の設置時期を記入します。
- ⑧ 「備考」欄は、保険期間開始日前に、見込農業収入金額の算定で用いる見込単収及び見込販売単価が、過去の実績の平均を下回ることが見込まれる農産物がある場合に、その旨を記入します。
- ⑨ 保険期間の営農計画の記載内容に変更が生じた場合は、原則として、変更した農産物の作付後1か月以内に通知してください。

5. ①農産物及び畜産物の営農計画のうち【畜産物用】について

- ① 「畜産物」欄は、保険期間に種付、導入及び出荷を行う畜産物を種類、品目及び用途ごとに次のとおり記入します。
 - ア 「種類」欄には牛、豚、鶏、馬、生乳等と記入し、「品目」欄には、子牛、育成牛、廃用牛等と出荷した目的別に記入します。
 - イ 加工原料乳生産者補給金の対象となる生乳については、「用途」欄に「加工原料乳含む」又は「加工原料乳」と、対象外の場合は、「用途」欄に「加工原料乳以外」と記入します。
 - ウ 収入保険の対象品目から除外される畜産物(肥育牛、肉用子牛、肉豚及び鶏卵)についても、記入し、備考欄に「対象外」と記入します。
- ② 「種付又は導入年(年度)」欄は、種付及び素畜の導入の年(年度)を記入します(生乳及び繁殖家畜の廃用は記入する必要はありません。。「畜産物」欄の種類等の区分が同じであっても、「種付又は導入年(年度)」が別であれば別行に分けて記入します。
- ③ 「飼養又は導入頭羽数」欄については、次のように記入します。
 - ア 家畜は、種付し、保険期間中に飼養する繁殖家畜の頭羽数(種付済みの家畜の導入頭数を含む)又は導入し保険期間中に飼養する素畜の頭羽数
 - イ 生乳は、保険期間中に飼養予定の搾乳牛の頭数
 - ウ 繁殖家畜の廃用は、保険期間中に飼養する廃用出荷予定の頭羽数
- ④ 「出荷予定年(年度)」欄は、出荷予定の年(年度)を記入します。
- ⑤ 「②保険期間に出荷する割合」欄は、出荷時期が複数年に跨る場合は、飼養又は導入頭羽数の保険期間に出荷する頭羽数の割合を記入します。
- ⑥ 保険期間開始前に既に事故が発生している畜産物がある場合は、当該畜産物の飼養又は導入頭羽数について、事故が発生した飼養又は導入頭羽数と事故が発生していない飼養又は導入頭羽数を別行に分けて記入し、事故の発生しているものに係る「事故の発生」欄の口に✓を記入し、「備考」欄に対象外と記入します。ただし、家畜共済の死亡廃用共済又は本収入保険に加入して事故発生通知を行っている場合は、「事故発生の通知」欄の口に✓を記入し、「備考」欄は空欄とします。
- ⑦ 「備考」欄は、保険期間開始日前に、見込農業収入金額の算定で用いる見込出荷率及び見込販売単価が、過去の実績の平均を下回ることが見込まれる畜産物がある場合に、その旨を記入します。また、第1章第6節第1の(2)において対象農産物等から除外することとされているものについて「対象外」と記入するものとします。
- ⑧ 保険期間の営農計画の記載内容に変更が生じた場合は、原則として変更した畜産物の種付、導入後1か月以内に通知してください。

②規模拡大特例に適用する経営面積について

「過去の経営面積」欄は、農産物は生産に供していた又は供する予定の耕地若しくは施設の実面積、畜産物は生産に供していた又は供する予定の畜舎面積を農地台帳、農業共済の加入申込書、経営所得安定対策の営農計画書、固定資産税納税通知書、農地賃貸借契約書などの根拠となる書類に基づき記入します。また、根拠書類は、できるだけ毎年同じ書類を用いてください。
 なお、基盤整備事業や災害の影響、未収益期間の樹園地であること等により、農産物又は畜産物の生産に供することができなかった又は供することができない予定の面積がある場合は、その面積を除くことができます。ただし、全ての青色申告提出年において同じ扱いとします。

(2) 保険期間の営農計画に基づく保険期間中に見込まれる農業収入金額

1. 「農産物又は畜産物」欄は、原則として、「(1) 保険期間の営農計画」に記入する農産物又は畜産物の種類、品目及び用途と同じ内容を記入します。ただし、同じ種類等であっても栽培方法等の違いにより、見込単収や見込販売単価が異なるなどの場合、別行に分けて記入しても構いません。
2. 「(1) 保険期間の営農計画」において、既に災害による被害を受けている旨を申告した対象農産物等については、当該事故に係る作付予定面積、飼養又は導入頭数を除外するものとします。ただし、加入申請日において、当該対象農産物等を共済目的とする共済事業又は収入保険に加入している場合であって、共済事業又は収入保険の事故発生通知を行っているときは除外する必要はありません。また、第1章第6節第1の(2)において対象農産物等から除外することとされているものについては、これを除外するものとします。
3. 「見込期首棚卸高」欄の「見込在庫数量」欄は、保険資格者が当該保険期間開始前に生産した対象農産物等の種類ごとの保険期間開始の時ににおける見込在庫数量を記入します。「見込単価」欄は、見込販売単価と同額とします。
4. 「保険期間の見込収穫数量等」欄の「作付予定面積等」欄は、「(1) 保険期間の営農計画」の「保険期間の収穫に係る作付面積」欄、又は「保険期間の出荷に係る飼養又は導入頭羽数」欄の値を記入します。
5. 「保険期間の見込収穫数量等」欄の「見込単収等」欄は、農業者の過去の実績による平均単収(原則として、平年的な単収と思われる2年分以上のデータの平均値)を記入します。記入に当たっては、「保険期間の見込単収試算表」(様式5号の1)又は「保険期間の見込出荷率試算表」(様式5号の2)を活用します。ただし、農業者の過去の実績が2年分ない場合は、全国連合会が準備する地域平均単収等又加入申請者自ら申告した客観的な資料に基づく見込単収等を記入します。この場合、農作物のうち耕地で栽培するものでないもの及び畜産物の「見込単収等」は、次のとおり計算します。なお、適用できるデータがない場合は、当該対象農産物等は、保険期間の営農計画に基づく保険期間中に見込まれる農業収入金額の算定から除外します。
 - ① ポット出荷作物は、出荷ポット数÷播種ポット数
 - ② きのは、生産数量÷原木数・駒数又は菌床数
 - ③ はちみつは、生産数量÷延べ蜂群数
 - ④ 生乳は、生産数量÷搾乳牛の飼養頭数
 - ⑤ 家畜は、(出荷頭羽数+繁殖家畜の自家保留頭羽数)÷種付した繁殖家畜の飼養頭羽数(種付済みの家畜の導入頭数を含む)又は導入した素畜頭羽数
 - ⑥ 繁殖家畜の廃用は、「100%」(廃用出荷頭羽数÷廃用出荷頭羽数)
6. 「見込販売金額」欄の「見込販売数量」欄は、保険期間の見込収穫数量又は見込出荷数量並びに保険期間開始時の見込在庫数量のうち保険期間に販売を予定している数量を記入します。「見込販売単価」欄は、農業者の過去の実績による平均販売単価(原則として、平年的な販売単価と思われる2年分以上のデータの平均値)を記入します。記入に当たっては、「保険期間の見込販売単価試算表」(様式6号)を活用します。ただし、農業者の過去の実績が2年分ない場合は、全国連合会が準備する地域平均販売単価又は加入申請者自ら申告した客観的な資料に基づく見込販売単価を記入します。なお、適用できるデータがない場合は、当該対象農産物等は、保険期間の営農計画に基づく保険期間中に見込まれる農業収入金額の算定から除外します。
7. 「見込事業消費金額」欄の「見込事業消費数量」欄は、保険資格者が生産する対象農産物等のうち、保険期間に事業用消費に充てることが見込まれるものの種類ごとの数量を記入します。畜産経営においては、繁殖家畜を自家保留した頭羽数を記入します。「見込事業消費単価」欄は、見込販売単価と同額又はそれ以下の単価を記入します。
8. 「見込家事消費」欄の「数量(対象外)」欄は、保険期間の見込数量を記入します。家事消費数量は見込農業収入金額の算定対象に含めません。
9. 「見込期末棚卸高」欄の「見込在庫数量」欄は、保険資格者が生産する対象農産物等の種類ごとの保険期間終了の時ににおける見込在庫数量を記入します。「見込単価」欄は、見込販売単価と同額とします。
10. 「見込数量払金額」欄の「見込収穫数量等」欄は、「保険期間の見込収穫数量等」欄の「数量」欄の値と同じとします。ただし、次の「11. の③」に該当し、かつ、当該保険期間の前に販売金額を受領する場合は、当該数量払の算定に係る作付面積及び単収から得られた数量とします。
11. 「見込数量払金額」欄の「見込数量払単価」欄は、次のとおり記入します。
 - ① 各数量払に係る実施要綱等に基づき定められた保険期間の平均交付単価を記入します。保険期間の平均交付単価が未定の場合は前年の平均交付単価を記入しても構いません。
 - ② 過去に数量払の交付実績のある農産物等の場合は、各数量払に係る実施要綱等に基づき定められた保険期間の品質区分別交付単価を農業者の過去の品質区分別数量の実績により加重平均して算出した単価を記入しても構いません。
 - ③ 当該保険期間の前に収穫・出荷した農産物等(大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ等)に係る数量払について、当該保険期間に受領し当年の収入に計上する場合は、当該数量払の算定に係る平均交付単価を記入します。
12. 数量払の交付を受ける予定の農産物等がある場合で、既に「交付申請者管理コード等」を通知されている場合は、そのコード番号を記入します。